

第120号

# カトレアだより

発行日：2022年（令和4年）3月15日

〒191-0011

東京都日野市日野本町 6-3-17

TEL 042-589-2250

医療法人社団 英世会

介護老人保健施設カトレア

## 草芽吹く頃、土手の枯草が少しずつ変化しています カトレアの河津桜も満開になりました



昨年末よりオミクロン株が爆発的に感染拡大しており、新規感染者数はまだ高止まりの状況です。当施設でも、職員の家族、保育園、学校などでの感染もあり、職員が次々に自宅待機となる状況が続いております。

現在、東京都の助成で毎週一度のPCR検査を実施しております。また2月後半より、PCR検査の補完として抗原検査も実施しており、なんとか施設内感染には至っておりません。

徹底した感染対策を講じておりますが、それでもコ

ロナウイルスはどこから侵入してくるかわからないという恐怖感が常にあります。このまま、なんとかコロナ明けまで凌いでいきたいと思っております。

カトレアの建物は多摩川沿いにありますが、目の前の土手の風景が日々変わっていきます。まさに俳句の季語「下萌え」のごとく、冬から春に様変わりしていきます。

また、カトレアの玄関横の河津桜がもう満開となり、しばし楽しませてくれました。

ウキウキした気持ちには到底なれない状況ですが、四季の変化に癒されながら、新年度に向けて気持ちを新たに切り替えて頑張っていきたいと思っております。



## コロナ禍で節分の会もお雛祭りも実施できませんでしたが・・・



残念ながら、集まって行う行事は実施できませんでした。

鬼の扮装をした職員がフロアを回り、ご利用者の一年の健康と安全を祈念しました。また、お雛さまは例年どおり飾って、ご利用者と一緒に記念写真を撮りました。


皆様、お雛さまやお内裏さまに負けない美男美女の笑顔でした。

3月の下旬から4月半ばには「お花見レク」を企画しております。四ツ谷下東公園にお連れする予定です。


## 直接面会につきましては、もうしばらくお待ちください

大変心苦しいのですが、感染状況を見ながら検討してまいります。ご理解の程お願いいたします。





## コロナ禍で新社会人になって思うこと ～作業療法士として働き始めて2年経ち～



2年前にリハビリの学校を卒業して、作業療法士として働き始めた職員の今の心境です。最初からご利用者に笑顔も見せてあげられない状況で社会人としてスタートしましたが、今ようやくコロナ禍でのリハ専門職として目標が見えてきました。



### 作業療法士 野村 雪乃

カトレアに就職してから2年が経過しましたが、入職当初2年間もコロナが続くなど考えていませんでした。社会人として初めての入職でもあったので、コロナ禍で働くことや私生活にも気を付けなくてはいけないことが多くあり、1年目は目まぐるしい日々を過ごしました。働いていく中で社会人としてのマナーなど様々なことを学ばせて頂いています。特に、感染対策などは実際に働くまで身近で感じる事が少なく日々を過ごしていたので、入職直後はコロナ対策に対しての自身の意識も大きく変わりました。

作業療法士としての勉強も研修や勉強会がZOOMなどのリモートを使用することが多くあり戸惑う事もありましたが、2年経過しコロナ禍での働き方にもだいぶ慣れてきました。リモートでの研修参加等は雰囲気をつかむのが難しいですが、参加のしやすさもあり3年目も積極的に勉強していければと思います。

今後もコロナ禍が続いていくと思いますが、作業療法士としての勉強を継続してカトレアに貢献できるようにしていきたいです。



### 作業療法士 大谷 菜月

いつもお世話になっております。作業療法士の大谷です。コロナ禍の中入職し、皆様のお力添えを頂きながらあっという間に2年が経ちました。

コロナの影響でマスクの着用が必須であり、ご利用者・ご家族の皆様、職員同士で素顔で会話ができないことに、入職当時から今まで寂しさを感じております。表情をお見せできない分、アイコンタクトや声の抑揚を意識し、少しでも表情を伝え、皆様との会話を楽しめるよう心掛けて参りました。

また、若い世代はコロナ感染していても無症状で経過することも多いため、気づかぬうちに媒介者にならないだろうかと不安な日々です。特にリハビリは20分程度近距離で皆様と接せざるを得ない為、日常生活でも感染対策を第一に過ごしています。カトレアでは週1～2度のPCR検査を行い、安心して業務に励むことができます。

まだコロナ禍の生活は続きますが、感染対策をしながら2年目以降も皆様のお力になれるよう努めて参ります。